

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 北九州市立花尾小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 1 1 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全 時間)	わたしたちのまちのお祭りを調べよう (25時間)
学習のねらい	地域に伝わる「前田祇園山笠」について調べることを通して、地域の伝統文化の価値やその祭りを受け継ぐ人々の努力を知り、地域の良さを自分なりの方法で表現し、伝えることができるようにする。
学習内容	1 前田祇園山笠という行事について話し合い、疑問点を出し合う 2 前田祇園山笠について調べる学習問題をつくる 3 講師の招へいや資料を通して、自分たちの課題について調べる 4 調べてわかったことを自分たちなりの方法で表現する 5 発表会をし、自分たちの学習をふりかえり、まとめる
参考資料 準備品 実施場所等	○前田祇園山笠保存会会長、仲宿八幡宮宮司などの地域の人材 ○前田祇園山笠についての読み物資料や写真、動画 ○前田祇園で巡行する笹山笠の模型

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	○花尾のまちのお祭りについて知っていることを話し合い、学習問題をつくる	○社会科の学習で行ったまち探検の経験をもとに、地域の神社に着目させ、わたしたちの地域の祭りについて学ぶ意欲を高める。	
6	○保存会の方や神社の宮司さんから、前田祇園について教えてもらう	○祭りの歴史やしきたりなどゲストティーチャーから聞き、質疑応答を重ね、学びを深める。	
8	○興味をもった山笠本体について、招聘した人形師から話を聞くとともに、山笠に載せる飾り作成の計画を立て製作する。	○学習のまとめの一つとして、山笠に載せる龍の頭を作る見通しをもたせる。	
8	○保存会の方や神社の宮司さんに分かったことや考えたことを発表するとともに、完成した山笠の飾りを披露する。	○祭りを軸に、自分たちの地域やその景観に心を寄せる児童の感想を発表原稿に生かすように促す。	

1	○学習全体を振り返り、単元のまとめとする。		
---	-----------------------	--	--

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 北九州市立花尾小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	校内	本物の山笠に飾る人形を作っている人形師の方(現在この1名の方しかいないため、跡継ぎの問題も講話の中で触れていた)に来校していただき、人形師の仕事の説明と実際に作った人形をみせてもらった。		児童は本物の迫力に驚くとともに、間近で見た人形の精巧さに感心していた。
1	校内	人形師の方に人形の作り方を実演してもらった。今回、児童らが作成する龍の頭を作成する段取りを実際の作業手順に従って説明してもらった。		人形の作り方自体を初めて知る児童は感嘆しながら人形師の作業を見守っていた。また、この後、自分たちが実際に作る龍の頭の作成手順に見通しがもてた。
1	校内	各学級で作った龍の頭を3つ、祇園山笠保存会会長に直接、見てもらった。作成の過程や思いを児童が伝えながらの贈答式となった。		児童は作成した龍の頭を披露する中で、地域の良さや祭りの価値について振り返ることができた。
1	校内	祇園山笠保存会会長からは、出来栄を褒めてもらっただけでなく、祭りにはこの3つの龍の頭を神社に奉納し		自分たちの作品を神社に奉納してもらえることを知って、児童らは大変喜んでいました。

		てくれる約束もしてく れた。		
--	--	-------------------	--	--

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>社会科と総合的な学習を関連付けて取り扱い、校区の景観への気づきから、古くからある神社に目を向け、神社の祭りを中心に学習を実施した点。</p> <p>また、神社関係者との連絡を密に、山笠の飾り作成を単元の目標の一つに位置付けた点。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>ゲストティーチャー招聘にあたっての連絡やスケジュール調整、飾り作成の段取り。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>今までは見るだけだった祭りへ、龍の頭づくりを通して、祭りへの参画意識が生まれた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>校区の景観に対する児童の気づきの豊かさや、祭りへの参画意識の盛り上がりなどに対して、指導する側も新鮮な発見を得ることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>この取組を継続させるための地域との連携や児童への意欲付け。</p>